山本有三生誕百三十年
山本有三＝作
二世尾上松緑＝演出

坂崎出羽守

長谷川伸＝作
大和田文雄＝演出

沓掛時次郎

中嶋正留＝美術
釘町久磨次＝装置

心を揺さぶる新歌舞伎の名作、
待望の上演！

坂崎出羽守
尾上松緑

沓掛時次郎
中村梅玉

平成29年度（第72回）文化庁芸術祭協賛
国立劇場11月歌舞伎公演

11月3日（金祝）―26日（日）

12時開演

10日（金）・17日（金）は午後4時開演

［ご観劇料］
特別席 12500円　1等A席 9800円　1等B席 6400円　2等A席 4900円
2等B席 2700円　3等席 1800円
（学生割引あり・障害者の方は2割引）

［予約開始］10月6日（金）午前10時～

［電話］国立劇場チケットセンター（午前10時～午後6時）0570(07)9900（一部IP電話等）03(3230)3000

［インターネット］スマホ http://ticket.ntj.jac.go.jp/ PC http://ticket.ntj.jac.go.jp/m

［窓口販売開始］10月7日（土）（チケット売場 午前10時～午後6時）※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

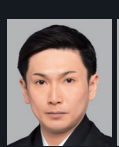
東京・半蔵門
国立劇場
大劇場

beyond 2020

坂東楽善

中村魁春

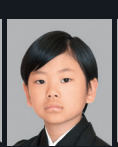
市川左團次

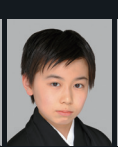

坂東亀蔵

嵐橘三郎

中村歌女之丞

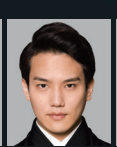
市村橘太郎

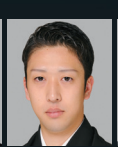

尾上左近


中村玉太郎

市川男寅

市村竹松


中村歌昇


中村梅枝

中村松江

河原崎権十郎

市村萬次郎

平成29年度（第72回）文化庁芸術祭協賛

国立劇場 11月歌舞伎公演

山本有三生誕百三十年
山本有三＝作
二世尾上松緑＝演出

坂崎出羽守（さかざきでわのかみ） 四幕

中嶋正留＝美術

第一幕　茶白山家康本陣
第二幕　宮の渡し船中
第三幕　（一）駿府城内茶座敷
　　（二）同　表座敷の一室
第四幕　牛込坂崎江戸邸内成正の居間

長谷川伸＝作
大和田文雄＝演出

沓掛時次郎（くつかけときじろう） 三幕

釘町久磨次＝装置

序　幕　（一）博徒六ッ田三蔵の家の中
　　（二）三蔵の家の外
　　（三）再び家の中
　　（四）再び家の外
　　（五）三たび家の中
二幕目　中仙道熊谷宿裏通り
大　詰　（一）熊谷宿安泊り
　　（二）喧嘩場より遠からぬ路傍
　　（三）元の安泊り
　　（四）宿外れの路傍

『坂崎出羽守』

坂崎出羽守成正　尾上松緑
金地院崇伝　市川左團次
本多平八郎忠刻　坂東亀蔵
家康の孫娘　千姫　中村梅枝
松川源六郎　中村歌昇
坂崎の小姓　市村竹松
坂崎の小姓　中村玉太郎
松平の使者　市川男寅
三宅惣兵衛　市村橘太郎
本多佐渡守正信　嵐橘三郎
南部左門　中村松江
本多上野介正純　河原崎権十郎
刑部卿の局　市村萬次郎
徳川家康　中村梅玉　ほか

『沓掛時次郎』

沓掛時次郎　中村梅玉
三蔵女房おきぬ　中村魁春
大野木の百助　中村松江
苫屋の半太郎　坂東亀蔵
三蔵倅太郎吉　尾上左近
安宿の亭主安兵衛　市村橘太郎
安兵衛女房おろく　中村歌女之丞
六ッ田の三蔵　尾上松緑
八丁徳　坂東楽善　ほか

明治後期から昭和初期にかけて、歌舞伎の手法を用いて近代的な思想や人間像を描く〈新歌舞伎〉の名作が生まれました。その中から、十一月歌舞伎公演では、大正・昭和前期に活躍した作家による傑作二篇をお楽しみいただきます。

『坂崎出羽守』

山本有三（一八八七～一九七四）が六代目尾上菊五郎のために書き下ろした史劇で、大正十年（一九二一）九月に初演されました。津和野の城主・坂崎出羽守は、大坂夏の陣で徳川家康の孫・千姫を猛火の大坂城から救い、自らは顔に火傷を負います。救出した者に千姫を嫁がせるという家康の言葉を信じた坂崎。しかし、千姫が坂崎を嫌うので、家康は一計を案じます。坂崎は一旦諦めましたが、千姫が桑名城主の嫡男・本多平八郎に嫁ぐことを知って……。武骨一辺倒だった坂崎が恋心を抱き、思わぬ屈辱を味わう。その屈折した心理が、巧みな場面構成の中で細緻に描かれています。中村梅玉の徳川家康を得て、六代目菊五郎から二代目尾上松緑、初代尾上辰之助（三代目松緑）と引き継がれた坂崎出羽守に当代の尾上松緑が初役で挑みます。今年は山本有三の生誕百三十年に当たり、三十六年ぶりに上演します。

『沓掛時次郎』

長谷川伸（一八八四～一九六三）によって昭和二年（一九二八）に発表され、同年十二月に新国劇で上演された股旅物の代表作です。昭和九年七月に十五代目市村羽左衛門が演じて以降、この作品は新歌舞伎のレパートリーにも取り入れられました。一宿一飯の義理で六ッ田の三蔵を斬った博徒の沓掛時次郎は、命を狙われた三蔵の女房おきぬと息子の太郎吉を助けて旅を続けるうち、いつしか二人に愛情を抱きます。おきぬは三蔵の子を身籠っていましたが、病床に就きます。堅気になったものの貧苦に喘ぐ時次郎は、金策のため、一度限りという条件で喧嘩の助っ人を引き受けます。果たして、時次郎とおきぬ母子の運命は……。人生の裏街道を歩く男の真心と哀愁が、人間味に溢れた描写で綴られています。歌舞伎では四十一年ぶりの上演で、中村梅玉の沓掛時次郎を始め、中村魁春の三蔵女房おきぬ、尾上松緑の六ッ田の三蔵ほか好配役でご覧いただきます。

深まる秋に、心に沁み入る〈新歌舞伎〉の名篇をご堪能ください。

11月3日［金・祝］–26日［日］

12時開演　10日［金］・17日［金］は午後4時開演

アフタートークを開催します

■開催日　11月7日［火］／14日［火］　公演終了後（無料）
公演に引き続き開催します。当日ご来場のお客様限定の催しです。
■出　演　中村梅玉　尾上松緑

尾上松緑

中村梅玉

■ ご観劇料

特別席	1等A席	1等B席	2等A席	2等B席	3等席
12,500円（学生 8,800円）	9,800円（学生 6,900円）	6,400円（学生 4,500円）	4,900円（学生 3,400円）	2,700円（学生 1,900円）	1,800円（学生 1,300円）

＊3等席に限り、予約開始初日は、お一人様1ステージ2枚までのご購入に限らせていただきます。
＊障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。＊車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

■予約開始　10月6日［金］午前10時～

【電 話】国立劇場チケットセンター（午前10時～午後6時）　0570（07）9900　03（3230）3000〈一部IP電話等〉

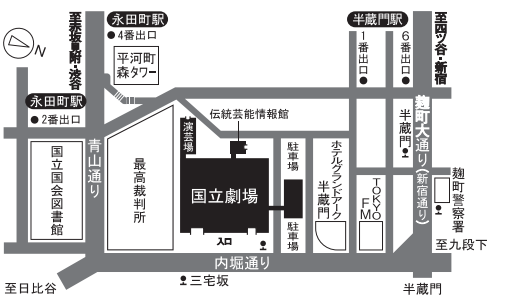
【インターネット】
パソコン http://ticket.ntj.jac.go.jp/
スマートフォン http://ticket.ntj.jac.go.jp/m

●プレイガイド
チケットぴあ 0570（02）9999
PC・携帯 http://pia.jp/
e+（イープラス） パソコン http://eplus.jp/
ケータイ http://eplus.jp/ntj

■窓口販売開始　10月7日［土］（チケット売場 午前10時～午後6時）　＊窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

	③金	4土	⑤日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	⑫日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	⑲日	20月	21火	22水	㉓木	24金	25土	26日
12:00	●	●	●	●	★	●	●		●	●	●	★	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
4:00								●							●									

★アフタートークあり



●地下鉄　半蔵門線〈半蔵門駅〉6番出口（エスカレーター、エレベーターあり）・1番出口徒歩5分
有楽町線・半蔵門線・南北線〈永田町駅〉4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
●都バス　都03〈晴海埠頭ー銀座四丁目ー四谷駅〉三宅坂徒歩1分（本数僅少）
宿75〈新宿駅西口ー河田町ー四谷駅前ー三宅坂〉三宅坂徒歩1分（本数僅少）
●劇場バス　終演時に運行（東京・新宿・新橋・渋谷方面行き）〈有料〉
●駐車場　収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

国立劇場託児室　月・水・土・日・祝日に開設

ご利用には、事前のご予約が必要です。（定員になり次第、締め切らせていただきます。）
料金　［0～1歳］2,000円／［2～12歳］1,000円
ご予約・お問合せ　イベント託児・マザーズ　http://www.mothers-inc.co.jp/
☎0120-788-222［受付時間］平日午前10時～12時、午後1時～5時

東京・半蔵門
国立劇場 大劇場
〒102-8656
東京都千代田区隼町4-1
☎03-3265-7411（代表）
http://www.ntj.jac.go.jp/

国立劇場 あぜくら会
秋の入会キャンペーン中！ ▶▶▶ 11月30日（木）まで
チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載！
詳しくはあぜくら会事務局 03-3264-0555 平日午前10時～午後5時 または国立劇場HPまで

協力：読売新聞